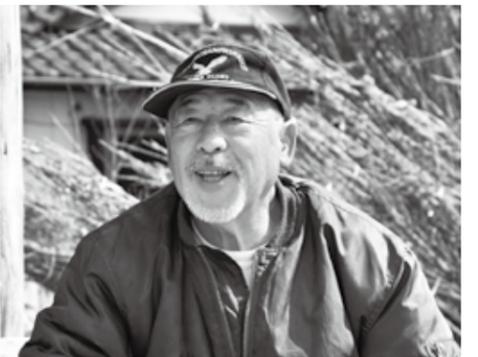


市民のひろば ~地域が輝く!明るく 元気な いわき~

レポート②④

今月号から、地域が輝くまちづくりに取り組む市民の皆さんにスポットを当て、紹介します。今月号は、平中神谷で世界一の桜の名所づくりに取り組む「いわき万本桜プロジェクト」代表の志賀忠重さんにインタビューしました。



志賀忠重さん (いわき万本桜プロジェクト代表)

Q 万本桜の植樹を始めたきっかけは何ですか。
 原発事故後、大人たちのせいで、自分の子どもたちに負の遺産を残しているのかという、腹立たしさと切なさを感じるようになりました。そのような思いを抱え、自分たちで何かやらないといけないと思っていました。四月に入り、山に桜が咲き始めました。それを見て気持ちが癒やされたのをきっかけに、桜を植えようと思い立ちました。
 そして、せっかく植えるのなら、世界一の桜の名所にしようと思いい、九万九千本の桜を植えることにし、震災直後の五月に、最初の植樹を行いました。
Q 具体的な活動内容を教えてください。
 五年間で三千本の桜を植樹しまし



50人以上の地主の皆さんの厚意で提供されている万本桜の山

た。植樹は、希望する方に申し込みをしてもらい、月一回行っています。植樹する土地の確保や、手入れを考えると、年間約四百本しか植えることができないので、九万九千本の桜を植えるには、約二百五十年かかります。
 しかし、活動を長く続け、一人でも多くの方に、体を動かす楽しさを感じながら、桜を育ててもらいたいと思っています。そして、体を動かすことで、人間的な生命力や気力、体力などを、一緒に育ててもらいたいと思いい、一人一本までの植樹にしています。
Q 活動する中で、気付いたことや感じたことを教えてください。
 ボランティアの方が、週末などに山に来て、一緒に汗をかきながら、桜の手入れをしています。自分の頭



自分の手で桜の苗木を植える小学生たち

で考え、体を使って作業することで、充実感を得ることができ、来るのが楽しいと言ってくれます。
 また、地元の小学校でも植樹を年一回行い、桜の面倒を見られています。子どもたちが自分で植えた桜の所によく遊びに来るので、子どもたちにとっても、この山が楽しめる場所になりつつあるのかなと思っています。
Q 今後の目標・抱負をお聞かせください。
 未来の子どもたちに、いわきの土地を愛していた方たちの気持ちが伝わるくらい、たくさん桜の木を植え、山一面の桜を見てもらえるようにしたいです。
 そして、一生に一度は必ず行ってみたいという場所を作りたいという思いで、地道に活動を続けていきたいと思っています。

いわきの五十年を振り返る

四倉海岸

昭和三十五(一九六〇)年五月、遠い南アメリカ大陸で発生したチリ地震による津波は、日本の太平洋沿岸に到達し、小名浜港では

高さ二・九メートルを記録しました。四倉海岸では、ごく小規模な被害にとどまりましたが、事はそれだけで終わりませんでした。翌年からは、四倉海岸の浸食が始まったのです。昭和

和三十七(一九六二)年には四倉海岸に防潮堤が築かれましたが、昭和四十(一九六五)年初頭の高波で砂浜が流され、ついに決壊する被害となりました。このため、同年十二月に基礎の

いわき市は本年十月に、市制施行五十周年を迎えます。本市のこれまでの歩みを、市内各所の過去と現在の写真を比較し、エピソードを交えながら振り返ります。

部分強化するとともに、波消しブロックを海側に並べて復旧。以後は、砂が堆積する状態が続き、被害は忘れ去られようとしていました。
 しかし、東北地方太平洋沖地震による大津波は、人々の予想を超えてしまいました。

世界で、日本で、繰り返される幾多の災害。その被害を知らされるたびに、私たちはどう災害を克服できるか、立ち止まって考える時間を与えられているようです。
 (いわき地域学会 小宅幸一)



四倉海岸の防潮堤復旧工事 (左に見える波消しブロックが補強のため海側に投入された) [昭和40 (1965) 年ごろ、小泉屋文庫提供]



かつての防潮堤の海側に建設中の新しい防潮堤 [平成28 (2016) 年3月、いわき市撮影]

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課 (☎22・7503) までご連絡ください。

3月15日(火)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

庁舎・支所	平(本庁)	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久浜・炊
地上1m	0.091	0.035	0.040	0.054	0.042	0.050	0.049	0.054	0.052	0.062	0.062	0.065	0.060

測定時刻: 11時
 単位: マイクロシーベルト/時
 出典: 原子力規制委員会ホームページより
 モニタリングポストは、マイクログレイ/時で測定されていますが、本表では1マイクログレイ/時=1マイクロシーベルト/時と換算して表示しています。

※過去における測定値、平成22年度の市内の状況については、0.04~0.07マイクロシーベルト/時で推移していました。(福島県ホームページより)

水道水の放射性物質の測定結果 水道局では、市内全12浄水場の水道水を週3回(法田第一ポンプ場・旅人浄水場・上遠野浄水場は週1回)検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出(1ベクレル/kg未満)であり、安心して飲んでいただけます。

放射線に関する問い合わせ窓口(県設置窓口) ☎0120-988-359 平日: 8時30分~18時15分 土日祝: 8時30分~正午